

# 天津小湊野外実習 & 発表会

理数科1年8組は毎年2泊3日で生物地学分野の野外実習を天津小湊周辺で行っています。今年度は10月1日(日)から3日(火)の3日間の日程で行われました。また、その研究成果発表会が11月27日(月)に行われました。



## 第1日：生物分野

宿舎となった内浦山県の森のフィールドで植生調査を行いました。実習班ごとに急斜面に10×10mのコドラートを張り、名物のヒルの攻撃に耐えながら(今年は数は多くありませんでした。)植物の観察と同定を行いました。



夜はこれも実習名物の「葉っぱテスト」です。ランダムに出題される10種類の木の葉をみて8種類以上植物名を答えられたら合格です。生徒は合格するまでチャレンジし続けなければいけません。今年は時間をかけて考える生徒が多く三巡しかできず14名の生徒が日付をまたいでしまいました。(2日目、七巡目で全員合格しました。)



葉っぱテスト実施中 合格しました!⇒

## 第2日：地学分野

午前には勝浦海中公園周辺の露頭観察です。断層や、鍵層に利用されるスコリア層など観察することができました。ただ、昨年行くことができた黒滝不整合が見られる吉尾海岸露頭は雨が続けていたせいもあり大崩落を起こしており立ち入ることができませんでした。(来年以降行程を変える必要があります。) 午後は鴨川青年の家付近の枕状溶岩の観察と岩石採集を行いました。



### 第3日：生物分野

千葉大バイオセンター横の磯で生物の採集を行い、バイオセンターの施設をお借りして採取生物の同定を行いました。直前まで大雨でしたが実習が始まると雨は止んでくれました。中には全身水没しながら採取している強者も見られました。



### 実習後：テーマ別研究&発表会

実習終了後、班ごとにテーマを絞り約1ヶ月、課題研究の時間や放課後を使い実験研究に取り組みました。その成果発表会が11月27日（月）6、7限に行われました。ポスターセッション形式で行われ、理科の先生をはじめ、多くの先生方や理数科の3年生を前に、各班自分たちの成果を伝えようと一生懸命発表を行っていました。今年は保護者の方も多数来校され生徒の発表に耳を傾けていただけました。各班の発表テーマは以下の通りです。

- 1班 「海水と川の水の塩分濃度から 3000 年後の海水の塩分濃度を予測する」
- 2班 「マハゼの体色変化について」
- 3班 「スコリア丘のできかた」
- 4班 「地層と岩石の硬度比較」
- 5班 「枕状溶岩を再現してみよう」
- 6班 「ヒルと二酸化炭素の相関関係」
- 7班 「歴史の当事者（有孔虫）」
- 8班 「八岡海岸で採取した鉱物は方解石なのか」

